

ひろば大代

NO.336

大代公民館

H19.7.23

|| 十七夜夏祭り ||

小雨の中

田植え囃子の奉納



4号台風がやってきて、各地に被害

をもたらしたのに続き、16日には新潟県中越沖地震があり、それぞれ被災された方々にはお見舞い申し上げます。

大代も連日雨が降り続き、「今年はお天気かなあ？」とみんなが心配する十七夜夏祭りがやってきました。

昨年は豪雨災害で田植え囃子公演も中止になったこともあり、今年こそ！の気持ちを通じたのか、子どもみこしは雨のため中止でしたが、小笠原流田植え囃子公演は小雨がとぎれた時を待って、お宮で奉納されました。

今年は中学生の人数が少なくなったため、小学生2名と元OBの父兄も数名加わり、親子で競演する楽しい場面もありました。

公民館まで帰ってきて最後の囃子の時、また小雨が降り始めました。久しぶりににぎやかな囃子の音が町に響きわたりました。

第22回都市と

ふるさとを結ぶ交流会案内

大代高山会

大代高山会では今年もお盆に帰省さ

れる皆さんをお迎えして、第22回都市とふるさとを結ぶ交流会を**8月14日(火)**に開催いたします。

日程は左記の通りです。

日時 8月14日(火) 13時～

場所 公民館集会室・広場

※雨天の場合 小学校体育館にて

◎イベント内容

13時～ 大久保間歩見学会

(中学生以上限定40人)抽選で決定!

バス代金費500円

お持ちの方は長靴・懐中電灯を持参して下さい。

大型バスにて公民館を13時出発

※山道3k以上徒歩を要します

※申込締切 7月末日まで公民館へ

15時30分～16時30分

石見銀山世界遺産登録記念講演会

18時～ 開会式

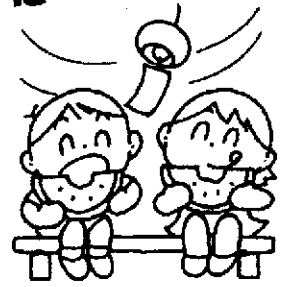
18時30分～ 高山神楽団社中公演

※盆踊り大会の前に盆踊りの練習

20時30分～ 盆踊り大会

23時 閉会

町民の皆様、記念Tシャツ・又はゆかたを着て交流会にご参加いただきますようお願い申し上げます。



麦秋の 風涼やかに

「ナイスショット!」

高山に響く クラブの木音

大代町体育協会会長 武田 穰

さる6月17日(日曜日)、大代小学校校庭で町内グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、30代から80代まで総勢18名の方々が参加して下さり、和気藹々としたひと時を過ごすことができました。

グラウンド・ゴルフは「ホールポスト」と呼ばれる旗のついた目印を地面に立てれば準備完了。ミカンほどの大きさのボールをクラブで打ち、ホールポストに入るまでの数で勝敗を競うゲームです。

実はこのグラウンド・ゴルフ、今から15年前に鳥取県東伯郡泊村(とまりそん)で《地元の健康づくりのために》

と開発されたとか。「ホールポストの中にボールが静止したら“とまり”と呼ぶ」というルールは、この泊村の名前にちなんでいるのです。

まず一句。

「お上手!」と ニッコリ笑顔で誉めながら 心で祈る「その玉、入るな」

穰

大会当日、ベテランの方々を着実にゲームを進めて「さすが」と周囲を唸らせる場面も多く見られました。でもその一方では、初心者の方がいきなり「ホールインワン!」の快挙を成し遂げる場面もありました。

また夏草の茂る校庭だけに「よしボールが入るぞ:うわっ、雑草に邪魔された!」といったハプニングも。

上手下手とは関係なく、意外な展開を見せるのも、グラウンド・ゴルフの面白いところです。

真剣な表情になったり笑顔がこぼれたり、のんびり約2時間。軽く汗をかいたところでお開きとなりました。

ぜひ来年は、年代を問わず、より多くの方に参加して頂ければと思います。

おかげさまで3周年

安全・安心・新鮮な農産物の販売で地域を元気に

高山の里直売所運営組合

横手 新治郎

元気な町づくりにはむかって始めた直売所“よっちゃん菜”は、丸3年となりました。この間地域の皆さんには、生産者と消費者との両方の立場でご協力を頂いたお陰であり厚くお礼申し上げます。

ふるさと小包につきましては、関西、東京石見高山会の会員の皆様に大変ご協力をいただいております事も、ご報告に合わせお礼申し上げます。

歩みは遅々としておりますが、着実に目的にむかって事業を行なっておりますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

最近の新聞のみだしに「中国産農産物トランプル続発」で、次のような記事が報道されていきました。

中国産の食料や医薬品による死亡などの悲惨な事故が、世界各地で相次い



でいる。わが国でも、中国から輸入されたダイエツト食品による死亡事故が記憶に新しいが、より心配なのが普段の食生活で口にする農産物の安全性。農産物の輸入大国のわが国にとって、中国は今や米国に次ぐ輸入相手国。野菜においては米国を抜いてダントツ一位の状況だ。その中国農産物から残留農薬の違反件数が全体の4割近くを占める。

この記事を見る少し前に、東京に居る友達にニンニクを少しばかり送ったお礼の電話で、「今、東京の消費者は、輸入物は買わない。特に根菜類は少々高くても国産を買っているよ。」と聞いたばかりであったので、やっぱり東京の情報は早いと感心した。

安全で安心できる農産物は、栽培技術の確立と顔の見える販売だといわれています。「ないものねだり」から、「あるものさがし」へと発想を転換することが、地域の活性化につながるのではないのでしょうか。

直売所は安全・安心・新鮮な農産物を販売する施設の原点ですから、今、話題となっているわけです。豊富な経

験がある高齢者の知恵は、次代に豊かさとして「宝」を伝える知恵袋です。高齢者の元気づくりに貢献出来る販売施設の繁栄が、地域を元気にします。商品を少しずつ増やしながら、消費者を呼びこみたいものと思います。3周年の大切な節目に当り、次のステップにむかうためのご協力をお願い申し上げます。

|| 我が家のペット自慢 ||

(植松)

山根くりちゃん

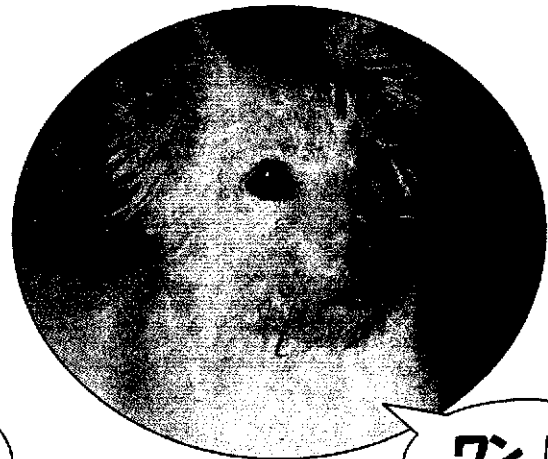


あそばうよ!

年齢 7ヶ月 ♀
みんなに可愛がられています。

(上市)

横田まるちゃん



ワン♪

年齢 7歳 ♀
猫のミーと仲良く暮らしています。

(四日市)
梨木たろうくん



見ないで!
テレビから

年齢 5歳 ♂
いつも元気なたろうです。

「男女共同参画社会」を より一層めざして

大田市男女共同参画推進委員

勝部 千歳



「男は仕事、女は家庭」という考え
方、生活スタイルは年々薄れていま
高度経済成長時代のように右肩上がり
の経済成長が望めない今の状況では、
男性一人の稼ぎでは家族全員の生活
を支えるのは難しく「男は仕事、女は家
庭」という考え方が、実のところ難し
くなっていると思われます。そういう
社会的状況に加えて、今は女性も家庭
だけに縛られることなく、自ら望んで
自分の人生を切り拓くことができる。
そういう時代でなければならぬとい
う考え方が広まってきた影響もあると
思います。

「男女共同参画社会」といわれて久
しいですが、出発点は、一九七九年「女
性差別撤廃条例」が国連総会で採択さ
れ「男はこう、女はこう」と性別によ
って決められた役割に基づく偏見、慣

習慣行をなくすために、男女の社会
的・文化的行動様式を修正するよう義
務づけられたのです。

そして、一九九七年には国において、
「男女共同参画社会基本法」が制定、
施行され、各自治体でも、男女共同参
画のための条例や基本計画を作成し、
社会制度の見直しなどの内容が盛り込
まれました。

しかし、施行から七年を経て、意識
調査したところ、男女の地位の平等に
ついて社会全体で、「男性の方が優遇
されている」と考える人の割合は、全
国で七三％と依然として高くなってい
ます。また、旧大田市でも、平成一五
年実施の男女共同参画に関する市民意
識アンケートの結果から男性の五七％、
女性の六三％が「男性優遇」と回答し
ています。

近年「婦人」という言葉は「女性」
にかわり、女性の能力を大いに発揮し
活躍されている様々な女性グループが
県内でも数多くあります。新大田市で
は、合併と同時に「大田市男女共同参
画推進条例」を、昨年度は計画を制定
し、改めて男女共同参画社会の実現に

向けて歩み始めました。

テレビのコマーシャルにも、時の流
れと言いましようか『わたし作る人
ぼく食べる人』なんていう映像は、ほ
んど見えなくなり、洗剤のコマーシ
ヤル、料理番組にも最近では男性が多
く見られるようになりました。

また、市内の学校では、男女平等教
育を進めるため、男女混合名簿にして
いるところが多くなり、各審議会への
女性の参加率も年々増えておりますが、
男女共同参画社会の形成のためには、
男女平等社会への個人の意識改革・政
策等の立案、決定への共同参画・男女
の人権の尊重・・・など、様々な課題
があります。

人口減少や少子高齢化が進む状況の
中で、男女があらゆる分野に、ともに
参画し、これまでの社会の仕組みにと
らわれることなく「まちづくり」を進
めていくことが重要であると思います。

新大田市には、男女共同参画推進委
員会があり、十名の委員がおりますが、
私もその一員です。時には県下の推進
委員の方々と共に学習を重ね、微力な
がら努めて参りたいと思っております。

まちづくり推進への新たな仕組みづくり

近年、中山間地域を中心に、高齢化や人口減少により、集落機能が低下しています。今後、これまで以上に、行政サービスの充実やコミュニティ機能の維持、活性化を図る必要があります。

そこで、地域活動を支援する体制の充実のため、コミュニティサポートセンターを新たに設置するとともに、公民館等がその特性を十分発揮できるよう、それぞれの役割について、基本的な考え方を決めました。

公民館

多様化、高度化する生涯学習に対するニーズに対応するため、スタッフの充実を図りながら、学習機会の提供や企画など、人材育成を主な役割とし、ブロック単位に1か所設置します。

コミュニティサポートセンター（仮称）

窓口業務を中心とした行政サービスの提供や概ねブロックを活動範囲とするコミュニティ活動の維持、活性化に向けたサポートを主な役割とし、ブロック単位に1か所設置します。

地区コミュニティセンター（仮称）

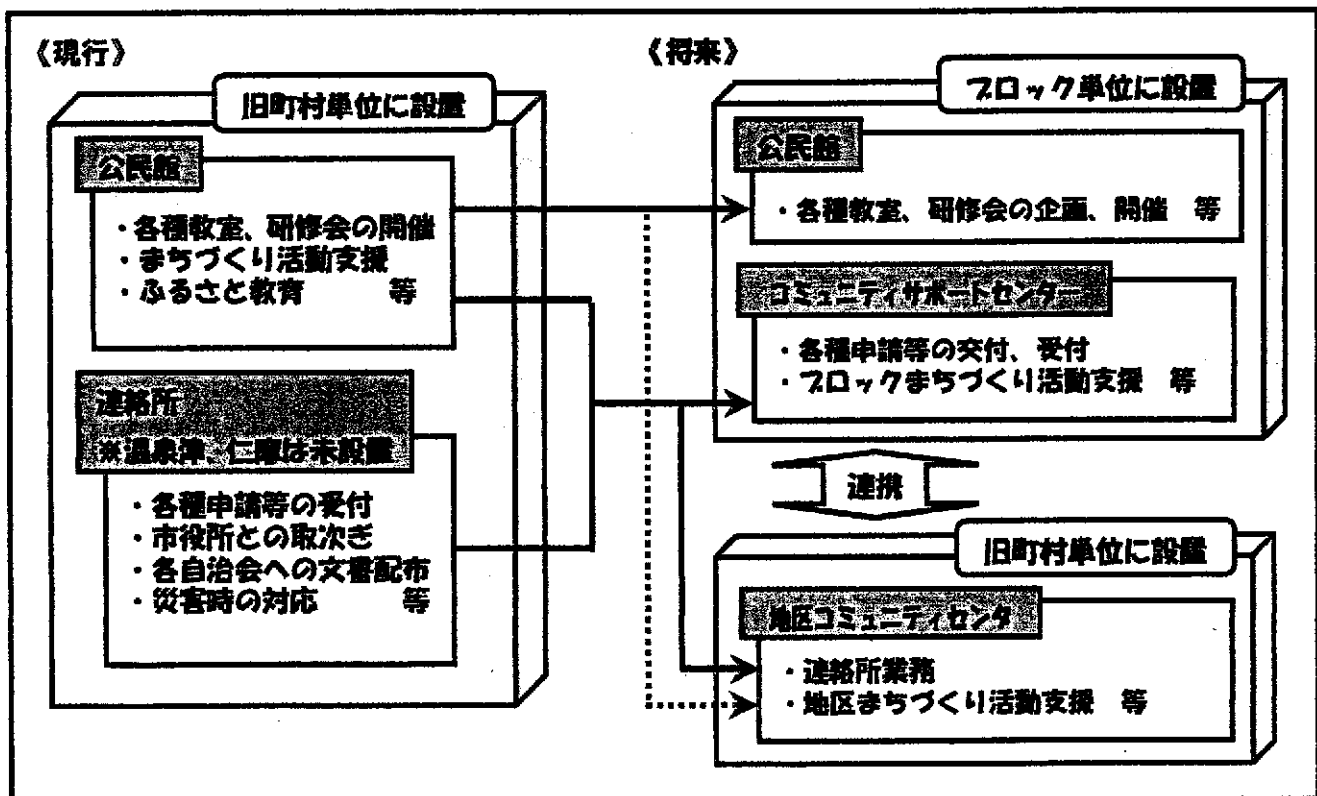
行政情報の速やかな伝達や地域防災及びまちづくりの推進などを役割とし、旧町村単位に設置します。

現在の連絡所業務と公民館が関わっていたまちづくりにかかる業務は、地区コミュニティセンターに引き継ぎます。また、同センターが、地区のまちづくりの拠点施設として十分に機能できるよう、人員の配置を予定しています。

今後の進め方

今後は、基本的な考え方に基づき、業務内容や人員配置の規模等、詳細に検討を進めていきます。

検討にあたっては、現在、実施している公民館への聞きとり調査結果や各自治会、各種団体などをはじめとする住民のみなさんからいただくご意見を参考に、今年度中の決定をめざし、平成21年度を目途に配置したいと考えています。



Ⅱ 地域交流事業Ⅱ 楽しかったそば打ち体験

先月、第三中学校の総合的な学習の体験学習（地域のひととの交流）が、今年も大代町の高山そば道場において中学生四名を迎えて行われました。

はぐるま会の会員さんに優しく、時には厳しく？指導を受けながら、粉をこねることから始めました。



そして、苦勞して出来上がったそばは、へただったけど味はとても美味しく、

また行きたいと思ったそうです。お世話頂いた会員の皆様有難うございました。

手作りコロッケと私

メタボリック症候群を考える

本郷 和田 積



“ロールキャベツ”とは無縁の人生を送ってきた。風の噂には聞いていたが、作った事もない（と思う）。

6月23日の男の料理教室は私のロールキャベツデビュー記念日となるはずであったのだが。

公民館に着くと、参加者は少なく、おまけにメニューも“ロールキャベツ”から“コロッケ”に変わっているではないか。

「新ジャガの時季だから変更しましたよ」の一言に、新キャベツの立場はどうなるのだろうか、自分がキャベツになってしまったかの様な憤りすら感じてしまうのだった。

しかし、……何故か私は……

「今日もコロッケ、明日もコロッケ」と唄いながら皮をむいているのだった。コロッケなら何度か作っているし、数限りなく食べてきている。こうなりや、やけくそで作って作って作りまくり、食べまくろうじゃないか。幸い一人の割り当ても多そうだ。と考えていた矢先、思い出してしまったのだ。

午後は病院へ行かなければならなかった。おまけに絶食、禁煙ときたもんだ。

メタボリック症候群。肥満症や高血圧、高脂血症などの生活習慣病で、内臓脂肪型肥満が、将来に糖尿病や様々な病気をおこし易くなっている状態のことだ。



候群予備軍なのであった。

「食」は生命の基。健康の源であることは知っている。特に痛いところも

お腹の出

きた私は、メ

タボリック症

なく、食べることに苦勞のない日々では実感が湧いてこない。

しかし、今回の男の料理教室では考えさせられてしまった。せっかく頑張つて作りながら一口も食べられなかったのだから。お腹もしっかり減つていたのに。

食べたいのに食べられない。食に苦勞するとはこういうことなのだろうなあと思つた。

「朝、目が覚めてどうやって今日一日家族を食べさせていくか考えなければいけない事程悲しい事はなかつた。」と、あるお年寄りが話されていた。

飽食の時代の中で、何不自由はなく育ってきたけれど、自分の健康や食事について考えてみるのも大切な事なのだなど少しまじめに思いながら、病院へと向かうのであつた。

俳句

あすなる句会

大田 原田萬里



雨樋の音も静かな梅雨の雨

梅雨晴間手を引き抱っこ子沢山

柿田 横手いちえ

梅雨空に世界遺産の祝ひ唄

梅雨寒や病衣の胸をかき合す

八反田 森 信子

梅雨寒や愛犬抱ひてあたたかし

久々に句と向き合ひて梅雨籠

椿 花田時子

梅雨寒し老々介護車椅子

草茂る捨田に牛を放ちけり

下市 今田文子

ねむの花盛りたたら里を訪ふ

常食に農夫の夕餉胡瓜もみ

川上 岩田律枝

車窓より見る紫陽花の手入れよく

江の川鮎釣り人の点々と

椿 柿丸寿枝

夏霧や呼ばれし牛の駆け来たる

紫陽花や無人の駅にひとり降り

▼4日(土) 婦人会支部長会

8月行事予定

▼14日(火) 第22回都市とふるさと

を結ぶ交流会

皆様のご参加をお待ちしています。

▼21日(火) さくらんぼ教室

▼23日(木) 連合自治会

お知らせ

○大代地区社協より

平 武田 章 様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

編集後記

やっと23日梅雨が明け、暑い夏の始まりです。東京石見高山会の松野 広様よりお便りをいただきました。

「先月の23日、私達、昭和19年4月に大家・八代の国民学校に入学し、そして大代中学校を卒業した(40人中3名鬼籍37名)26名が参加して53年ぶりに温泉津温泉で同窓会を開催しました。記念の写真を同封いたしますので最後のページに綴じていただければ幸いです。」と送ってこられました。

懐かしい方ばかりです、ご覧下さい。

祝古希 大代中 平成19年 2月28日 同窓会



＜1953年卒 2007年再会 53年振り＞

- 全員集合
- ふるさとく
- 出席 二六名
 於 ゆのつ温泉
 名前は旧姓
- | | |
|-------|-------|
| 己作典香 | 渡井道子 |
| 柳原久子 | |
| 岩田律枝 | 長谷ユリ子 |
| 堺 妙子 | |
| 榎原秋子 | 国川末子 |
| 島田成子 | |
| 渡利瑞恵 | 小林敏子 |
| 高村始子 | |
| 高村キヨミ | 松島賢藏 |
| 福山悦博 | |
| 池田美智子 | 有田敏幸 |
| 岡田 武 | |
| 山根 勝 | 大根武信 |
| 竹本 讓 | |
| 松野 広 | 渡井一義 |
| 森 幸三 | |
| 樋口光義 | 山根春義 |